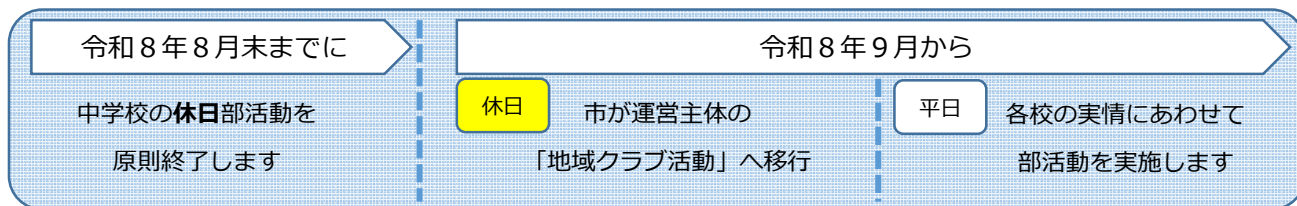


なぜ休日部活動は「地域クラブ活動」へ移行するのか？

～休日の活動は市が運営する新しい仕組みへ～



1 【国の方針】全国的な改革です

- ★ 国は部活動改革に関する総合的なガイドラインを策定し、令和8年度～13年度の6年間を学校部活動の「改革実行期間」としています。

2 【少子化】部活動が成り立たない

- ★ 少子化により部員が集まらず、単独の学校ではチーム編成ができず、合同チームでしか大会に出られないケースも増加しています。

3 【教員の働き方】指導体制が限界

- ★ 部活動指導は長年、教員の「善意」に大きく支えられてきました。
- ★ 休日の指導などによる教員の長時間労働は、平日の授業の質や、生徒と向き合う時間にも影響を及ぼしています。

※ 教員の業務量管理が法的義務となり、学校部活動指導が困難な時代になっています。

4 【ビジョン】子どもたちを地域で支える

- ★ 部活動を学校の教員「だけ」に頼る仕組みから、地域の多様な人材・資源を活用して社会全体で子どもを支える仕組みへ転換します。
- ★ 将来にわたって体験機会が確保されるよう、地域で「持続可能な形に進化」するものです。

【部活動と地域クラブの違い】

	学校部活動	地域クラブ活動
運営	各学校	市
指導者	教職員・部活動外部講師	地域の指導者（希望する教職員含む）
活動単位	学校単位	市単位（1種目1クラブが基本）
費用負担	なし	受益者負担あり

詳しくは、市ホームページをご確認ください。

- ★ 市ホームページ：<https://www.city.owariasahi.lg.jp/page/55277.html>

